

分かる！快感！

Z会ナビ

算数

理科

社会

お題

アリとアブラムシの
あまい関係

アブラムシのおしりをさかんにつついているアリがいました。このアリはいったい、何をしているのでしょうか。



- ①アブラムシを巣に持ち帰ろうとしている。
- ②アブラムシから食べ物もらっている。
- ③アブラムシを追いはらっている。

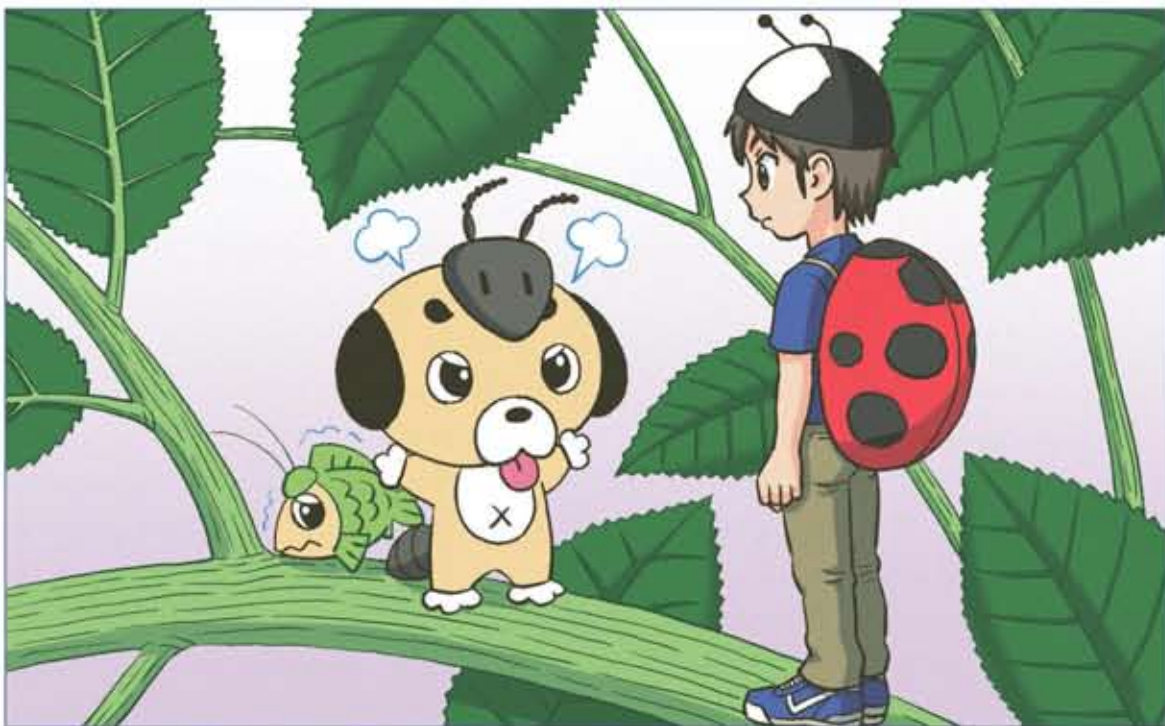
写真のアリは、クロオオアリという、日本中でよく見られるアリで、植物にたくさんついているアブラムシの近くを歩きまわり、アブラムシのおしりをつつくようなしぐさをしていました。アブラムシは絶体絶命のピンチ……！なのでしょうか。しかし、しばらく観察していても、アリがアブラムシを食べたり、巣に持ち帰ったりしているようすはありません。いったいこのアリは何をしているのでしょうか。

おしりをつつくと……

アブラムシは植物の汁を吸って生きています。そして、たくさん汁を吸うと、おしりからあまい汁を出すのです。あまい汁が大好きなアリは、その汁を求めてアブラムシのところへやってきました。アリは、アブラムシから食べ物もらっていたのですね（問題の答えは②）。

アリはあまい汁をもらえていいことがあります。アブラムシはただ親切にアリにあまい汁をあげるだけなのでしょうか。

そんなアリとアブラムシのいる場所へ、テントウムシがやってきました。アブラムシはテントウムシの大好物。つまり、アブラムシにとって、テントウムシは天敵です。今度こそアブラムシは絶体絶命のピンチ！身を守るすべのないアブラムシは食べられるのを待つばかり……と思っていたら、なんと先ほどあまい汁をもらっていたアリが、テントウムシを追いはらいはじめました。アリに追いはらわれたテントウムシはどこかへ飛び去っていき、アブラムシは食べられずに生き残ること



イラスト・瑞木匠

テントウムシ登場で明らかに

ことができました。アブラムシはあまい汁をアリにあげるかわりに、アリに守ってもらっていたのですね。

このアリとアブラムシのような、どちらにも利益のある生き物どうしの関係を、相利共生といいます。よく見ると、ほかの場所では先ほどとは種のちがうアミメアリも、アブラムシからあまい汁をもらっていました。たくさんのアリがアブラムシと相利共生の関係を築いているのですね。



ほかの生き物と生きる

アリとアブラムシのような相利共生の関係は、ほかの生き物でも見られます。



たとえば、クマノミとイソギンチャクの関係は有名ですね。クマノミはイソギンチャクにかくれることで敵からのがれることができ、イソギンチャクはクマノミの食べ残しをもらったり、体の

そうじをしてもらったりします。

わたしたちヒトも、たくさんの生き物とともに生きています。その中には、どちらにも利益のある相利共生の関係にある生き物も多くいます。たとえば、ミツバチです。ヒトはミツバチからハチミツをもらうかわりに、巣箱を作ってすむ場所をあたえたり、敵におそわれないようにしたりしています。ほかには、イネも相利共生といえるでしょう。ヒトは食べるための米をもらうかわりに、イネがよく育つように田んぼでイネの世話をします。

このほかにも、ヒトと相利共生の関係にある生き物は、身近にたくさんいます。どのような生き物が、それぞれにどのような利益を得ているのでしょうか。考えてみてください。（Z会・鳥越賢）

！
今回の
教訓

地球上の生き物は、互いに関わり合って生きています。互いに利益のある関係があれば、互いに害のある関係もあり、その関係はさまざまです。いろいろな生き物、そして人と、よい関係を築いていけるといいですね。



鳥越賢さん 2010年Z会入社。小学生向けの理科の教材編集を担当。生き物が大好きで、妻と2人の娘とたくさんの生き物に囲まれて暮らす。山口生まれ広島育ち。